

第6回 東御市総合文化フェスティバル

10月31日、11月1日 中央公民館

10月31日、11月1日の2日間、中央公民館で第6回東御市総合文化フェスティバルが開催されました。日頃の文化活動のグループの作品と市内の小・中・高校生や障がい者の作品、一般公募の作品等 1,200 点の作品が展示されました。

天候にも恵まれて、ご家族連れで、同時開催の菊花展とともに文化の秋を楽しんでいただきました。



オープニングセレモニー



菊花展



粘土クラフト



陶芸



小・中学生作品



パッチワーク



人形



ステンドグラス



吊るし雛



リフォーム洋裁



あみもの



押し花



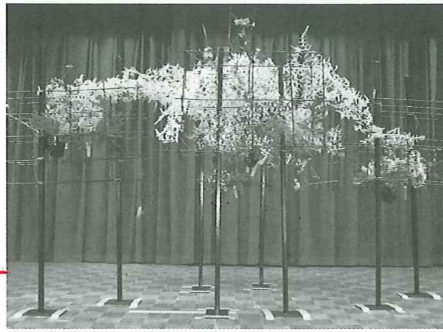
レザークラフト



茶道



書道



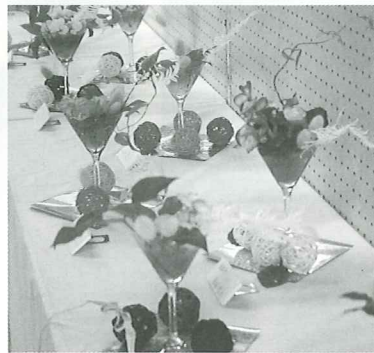
華道



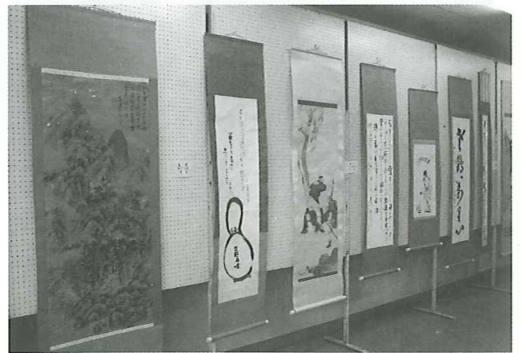
ちぎり絵



木彫



個人作品



表具



籐手芸



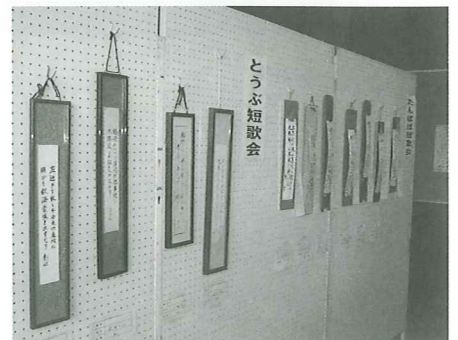
絵画・水墨画



写真



パン粘土



短歌・俳句・川柳

「せせらぎ」に寄せて

東御市長 花岡 利夫



数年前、東京八重洲口の本屋で、「スピノザの政治思想」という哲学書を求めました。著者は東京大学大学院総合文化研究科の教授、柴田寿子氏でした。スピノザは、オランダが生んだ哲学者でデカルトを世に出した人として、またハイデルブルク大学教授のイスを研究の邪魔になると受けなかったことでその名が世に知れ渡り、また「神即自然」という考え方と「エチカ」の著者としても有名です。

このスピノザの研究者である柴田寿子さんが、私の恩人でありまちづくりの恩師でもあった、田中ストアー元理事長故田中正夫氏の長女であることを知ったのは、2月4日に柴田寿子教授が亡くなられてから、二カ月が過ぎた後に、御母上様の口からでした。

そのときになって初めて、スピノザ研究の第一人者が最も身近な田中さんのお嬢様であることを知りました。

柴田博士は病に伏した後、アメリカでの治療を受けることを拒否され、ホスピスに入って最後の研究を仕上げ、そして旅立たれました。享年五十三歳。

「天命を知りて人事を尽くす。」東御市にこんな素晴らしい文化人がおられたことを誇りに思います。

合掌

“文化協会の現況”

東御市文化協会長 貢 甚一郎

「東御市文化協会」は、三年後に、創立40周年となります。

文化活動を楽しみながら実践しておりますが、その成果を発表会・展示会等を通じて「地域還元活動」とさせていたいております。現状の課題といたしましては、後継者の発掘や育成活動におきまして、まだまだ不足していることを強く感じております。

今年は「広報活動」に力点を置きまして、会員の活動状況等について「スピーディー」にお伝えする為に「ホームページ（検索：東御市文化協会）」を立ち上げた次第です。各種行事の事前PRを始め、実施結果のお知らせ等々、沢山の情報をお知らせ等々、掲載して皆様のアクセスをお待ちしております。



会長 貢 甚一郎



副会長 小林 泉



副会長 青木 嘉子



会計 山浦 隆子

当協会には既に多数のグループが所属していますが、更に「新規ジャンル」や「新規グループ」の誕生等は大歓迎ですし、特に就労の場を離れた皆様方等の加盟をお待ちしております。

事務局の市の生涯学習係（中央公民館内）宛、ご連絡をお願い致します。

平成21年度 東御市文化協会役員名簿

教養部会	カラオケ部会	料理部会	川柳部会	邦楽部会	文芸創作部会	棋道部会	ダンス部会	音楽部会	陶芸部会	俳句部会	短歌部会	園芸部会	工芸部会	手芸部会	茶道部会	華道部会	合唱部会	謡曲部会	詩吟部会	舞踊部会	民謡部会	彫刻部会	書道部会	写真部会	絵画部会	監事	監事	会計	副会長	副会長	会長
寺島武郎	中村善泰	清水美幸	丸山孔男	渡辺正	小林富士子	増田宣夫	石和敬子	金児充	青木一夫	塩野靖夫	小林嘉代	寺田泰明	藤沢敦子	小池トミ子	新保俊子	佐藤充茂	庄村慎雄	福島慎誠	関原けさえ	上原明	船田利夫	近岸和郎	山岸一郎	土屋孝吉	高藤俊幸	田中弘子	塚田悦郎	山浦隆子	青木嘉子	小林嘉子	貢 甚一郎

退任のご挨拶

前副会長 栗原 陽子

二期四年間、会員の皆様のご協力のもと、副会長を務めさせていただきました。ありがとうございました。

二期目のスタート直後、会長に就任したばかりの土屋征志郎さんが急逝されてしまいました。のんびり屋の私も、この時ばかりは会員二千名の重圧をズシリと感じる日が続きました。

幸いにも貢さんにご就任いただき、強力なリーダーシップのもと、滞ることなく活発な運営がなされたことを改めて感謝いたします。40周年に向け、更なる協会のご発展をお祈りいたします。

新任のご挨拶

文化協会副会長 青木 嘉子

4月より副会長の大役をお受けすることになりました。元より非力ではございますが、一生懸命務めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

文化協会は今、指導者や会員の高齢化で会員が減ってきています。文化は次代に引き継ぐものと言います。地域や年代を越えた学びの場を、次の若い世代にも是非引き継いで頂きたいものと願っております。

平成21年度 東御市文化協会功労者表彰受賞者

4月16日総会の式典において文化振興に尽くされた功績により、左記の方々が受賞されました。

功労者表彰受賞者

水墨画	保科 清
華道	細山 臧子
表具	小林 良徳
ちぎり絵	佐藤 充子

感謝状受賞者

書道	小林 寅吉
前副会長	栗原 陽子
前会計	高木 友子
前監事	松本 房子

東御市文化協会 ホームページを拜見して

エクセル入門講師 静 宣夫

いきいき生涯学習塾の一講座「エクセル入門(夜)」の講師を、今年初めて担当させて頂きました。

講師を担当させて頂きながら、実のところ、このホームページを見るまで、市内にこれだけの数の活動グループがあるとは、知りませんでした。

私自身がこんな状態でしたので、ホームページの開設は大変有効と感じます。

この後も、情報掲載が滞る事無く、当協会の活動状況を紹介して行つて頂きたいと思えます。

そして、より広く市民の方々に知って頂くためにも、携帯サイトでの閲覧も出来る、若い世代にも閲覧機会が広がると感じます。

東御市文化協会ホームページ開設
 名称 東御市文化協会
 アドレス <http://tomi-bunkakyoukai.jp/>

ふれ合いの多い文化活動

生涯学習受講生 梶野 幸子

ラッシュの通勤地獄から解放され、当地に来て早くも三年目を迎えます。

知人もいないこの土地で生活して行く不安から、出会いの場を求めて生涯学習の講座を申し込み、楽しませて頂いています。ビックリしましたのは東御市の文化活動の活発さです。人口の割には大きな美術館が二つあり、いくつもの地域の公民館を拠点に様々な活動をされている事です。

文化活動は、楽しい学びの場であり、出会いの場であり人を豊かな気持ちにさせてくれます。おかげ様で私も知人ができ、生活していく上でたくさんの方の知識を得る事ができ、今日も文化フェスティバルで、種々な作品の発表を鑑賞することができ、市民の皆様が活躍されている事を知る事ができました。

ホームページの開設で、文化協会の更なる情報を得られる事を期待しています。

平成21年度 文化協会のあゆみ

- 平成21年1月6日 第5回東御市新春書初め大会
- 1月18日 ニューYEARパーティー(ダンス・ピリッ)
- 1月25日 第17回邦楽部会発表会
- 3月1日 第30回舞踊部会発表会
- 3月14日 第5回書道部会会員展
- 3月15日 第29回琴伝流大正琴発表会
- 3月19日 平成20年度第3回常任理事会
- 4月5日 第25回謡曲大会
- 4月11日 第11回大田区東御市交流開基大会
- 4月12日 第30回民謡部会発表会
- 4月16日 平成21年度文化協会総会
- 4月17日 第2回東御市油絵同好会展
- 4月21日 いきいき生涯学習塾開講式
- 5月15日 第1回常任理事会
- 5月21日 第14回香東会書展
- 6月7日 第40回聖風流東部吟道会温習大会
- 6月23日 第59回東御美術会会員展
- 7月26日 第20回文化協会杯墨芸会(早稲穂御芝草)
- 8月9日 第3回音楽部会合同発表会
- 8月25日 第2回常任理事会
- 8月30日 第14回カラオケ部会発表会
- 9月1日、14日 「和紙ちぎり絵展示」(道の駅)
- 9月29日 文化協会役員研修旅行(川越市)
- 10月4日 とつみ混声合唱団30周年定期演奏会
- 10月20日、29日 ちいさなちいさな写真展(SFC)
- 10月23日 書道部会研修旅行
- 10月24日 第27回TNS定期演奏会
- 10月24日 第6回総受化フェスティバル 菊花展
- 11月1日、8日 第13回テーマ展(東御美術会)
- 11月2日 菊花展入賞者表彰授与式
- 11月21日 第6回東御市短詩型文学祭
- 12月1日 「第28号せせらぎ発刊」
- 通年 高齢者センター「ほめあいギャラリー」の展覧
- 4月24日、通年 広報委員会7回、ホームページ取材約30回

絵画部会

良い絵を見ることは 心の洗濯に

部会長 高藤 俊幸

絵画部会は、東御美術会、くりの実会（水墨画）、絵画好遊倶楽部（油絵）、みまき絵画会、油絵同好会、彩明会（水彩画）の六グループで80人が所属しています。活動は各グループ毎に定例会を月一〜二回行い、人物、静物、風景などを学習しています。その成果発表の場として年一回の会員展を開催しています。今回は東御美術会の活動を紹介いたします。昭和24年に祢津地区で、寺島長虎氏が中心となり祢津美術会が創設され、その後町村合併により東部町美術会、現在の東御美術会に継承されてきました。月二回の定例会、年一回の会員展とテーマ展（本年は古民家で）11月3日から開催しました。平成23年度から絵画部会展開催ができるか検討しています。



写真部会

「写真」の楽しさを 感じて37年間

写団SFC会長 土屋 孝吉

私たち「写団SFC」は写真を楽しむ団体で、今年で37年目を迎えます。現在は男女合わせ31名が、月に一回集まって和気あいあいと写真話に花を咲かせています。毎年10月に文化会館で行う「ちいさなちいさな写真展」も今年で13回目を迎えました。年に一度のこの発表に向けて、一人ひとりが思いを込めて写真を作り上げます。大きなサイズに仕上げられた写真が会場いっぱい並べられ、スポットライトに照らし出される時、それぞれの作品を撮影した時の思いがよみがえります。そのほか国内旅行、海外旅行、暑気払い、忘年会など、楽しむことが何より大切な会でもあります。



皆さんも私たちと一緒に、写真の楽しさを味わってみませんか。初心者大歓迎です。お問い合わせは、事務局TEL62-0124サトウカメラまで。

書道部会

部活動の紹介

部会長 山岸 一郎

「教室に行ける日は早目に家事を済ませ、いそいそと。そして何もかも忘れて、字を書くことに集中できる時間が一番楽しい。」ある会員の話です。書道部会には十人前後のグループが十数ありあって、日頃地道な活動をしている。その成果を発表する機会が秋の文化フェスティバルと、春の部会展で自ずからみんなの目標になっている。その他部会の活動としては、秋の行楽シーズンに行われる研修旅行と、市の中央公民館と共催で行う新春書き初め大会がある。

以上の活動を通して仲よく技を磨き、また多くのの人に書への関心を持つてもらえるように励んでいます。入会に意のある人はいつでも声をかけて下さい。



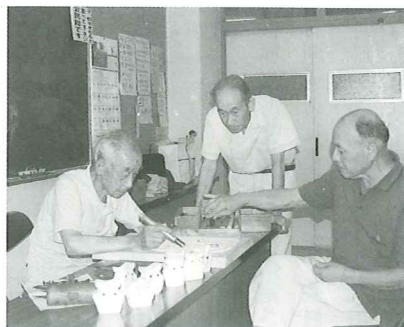
研修旅行「良寛」を尋ねて

彫刻部会

「自分が直接 感じたものが尊い」 (山本 鼎)

きつつき会 山本 佳一

今年で彫刻部会は31年目を迎えます。昭和53年、古い公民館の一室で15名が集り、先生の手許をみたり手を取ってもらい彫刻刀を持ちました。相手の木もいろいろな個性や感性があり、木と彫り手の意志がどう通うかです。農民美術が発祥して九十年、木友会を中心に今まで、およそ二百名ほどの仲間が出来ました。だんだんチャレンジする程に、木彫りの楽しさが増して来ました。そして素材を生かした「自分のデザイン」を目標に、月二回の教室がなによりうれしいのです。刃物が切れなければ、木との対話はすすみません。人間と刃物と木との出会いが大切です。何を彫るのか、自分が直感したものを形にするよろこびに、今日もファイトを燃やしています。



民謡部会

丈の会

部会長 船田 利明

我が国伝統文化の民謡の保存と普及

に努めて居る折でございます。情緒ある竹の響きに、思いの丈を尺八の音色に乗せて、民謡を通して共に研鑽し、親睦を旨とし崇高な美を求めたい。」と言う思いの元に丈の会を作りしました。尺八の先生に、大塚英男、市川建司、両氏をお招きし、「流派所属老若男女を問わず、お互いが先生、お互いが生徒、ライバル技術を向上させ、以て民謡の発展に貢献する」と言う信念の元に只今は10名ほどで楽しく、おもしろく、仲良くがんばって居ります。場所は東御市文化会館練習室、毎月第二火曜日第四火曜日13時から17時まで、会費は月額千円、退会は心の命ずるままに、やる気のある方はおいで下さい。



舞踊部会

日本伝統芸能の一つ

部会長 上原 けさえ

舞踊部会は十五の流派26グループで構成されております。

流派は異なっても皆舞踊を愛する人達の集りですので、和やかな会です。今年の舞踊部会の発表会は30回目が3月1日文化会館にて開催されました。日頃先生の熱心なご指導により、お稽古を積み重ね30周年記念には民謡、三味線、雷電太鼓保存会の皆様方のご協力を賜り盛大に踊る事が出来ました。

又プログラム最後には指導者の皆様素晴らしい踊りで終わりました。今後とも伝統文化のすばらしさを継承していきたいと思っております。若い人々にも舞踊部会に入って楽しい仲間づくりをしていただきたいと思っております。



詩吟部会

漢詩文の余韻が心にしみる

部会長 関 誠

詩吟部会は①聖風流東御支会、②岳照流日本誠吟会で構成され、日々吟道に精進しております。

月に漢詩文二題にふれ、黙読、音読、吟詠と順次技術の習得に心掛けております。

年に一度は各流派の発表会(詩舞も含めて)を実施し指導者数人によるアドバイスを受け研究、向上を目指し、近隣市町村の大会、県大会、全国大会等にも努めて多数の方々の参加が増え好成績を収めている現状です。

今年も11月には東京武道館に総勢50名が参加の為(聖風流)特訓中です。尚初心者、興味のある人の為に生涯学習講座に詩吟コースがありますので是非一度聴講され詩吟の魅力味わって頂きたいと思っております。



左端...独吟 三人による詩舞です

謡曲部会

さわってみよう 能の世界

部会長 福島 慎雄

昭和36年に、東部町観世会が結成され、49年文化協会に加入、当時会員は12グループ96名(49年度総会資料による)。

当時より、長野市の児玉一太郎師、児玉久治師に指導を受けております。

部会の主な事業は、謡初会(総会を兼ねた会)、ゆかた会(8月)、納会(温習会12月)、主に東門舞台を利用。親睦謡曲大会として、長野市の同好グループを招いて開催、旧上小地域の同好グループを毎年持ち廻りの謡曲大会(3~4月)に参加。

今後の課題

能楽が、世界無形文化遺産に指定され国際的にも認められましたが、会員の高齢化、趣味の多様化等により会員の減少が進んでおります。謡曲の愛好者をひとりでも増やして行く活動を中心に進めて行きたいと思っております。



合唱部会

楽しい山びこ合唱団

小川 章芳

コーラスは人生の生き甲斐、美しい詩や曲に出会うときなんともいえない喜びを感じ、充実感を覚える。団員は、皆「命ある限りいつまでも、歌い続けたい」と思っている。そんな思いで、白石みさよ先生の下に集まった中高年男性14名です。創立から57年たちました。最初は混声で女性もいて、団員同士の結婚もあつたようです。今は男性のみの合唱団となり創立頃から歌い続けている団員もあり、頼もしい限りです。練習は月4回、内1回は、女性合唱のコーレエコーと合同で、練習をしています。12月の東御市合唱祭参加や、来年4月には、合同演奏会を計画しています。「出来る時に力一杯やろう。」を合言葉に頑張っています。



華道部会

グループむらさき

寺島 まさる

今は建物も近代化して、生け花を置く場所も家にあつては、玄関、リビング、寝室等々になり、外に向けては、お店のショーウィンドー、演劇や講演の舞台装置、野外の催し物の会場等々と多用になり皆それぞれに合せて勉強している現在です。しかし、それと同時に日本家屋の座敷の床の間に格調高く生けあげた伝統的な生け花はやはり深く心を打つものがあり、今の若い人達がこの花に興味を持ち始めたと聞きました。美しい花を美しく活けた時は、最高に幸せだと思っています。



茶道部会

一服のお茶

部長 新保 俊子



茶道部会には、裏千家の泉会第一とみどり会、表千家の宗志会、菜の花会と、四グループございまして、それぞれ先生のご指導のもとにより稽古を積んでおります。文化フェスティバルの時は一年交替で、中央公民館三階のホールにて、立礼席でお茶をふるまっております。季節の和菓子と、一服のお抹茶、気軽に立ち寄って茶の湯の雰囲気を楽しんでくださる方が、年々多くなりました。今後、精進して日本文化のすばらしさを継承して行きたいと思っています。

手芸部会

編物はボケ防止

部長 小池 トミ子

手芸あみもの部会は、もくれん会にむつみ会、ひつじ会の3グループが、小林知美先生に教わっています。先生は、一人一人に合った寸法を型紙に書く事や編み方等懇切に教えて下さるので、仕上がりは美しく皆満足しています。又、先生は知恵袋を持っていらつしゃるので何の事でも相談に乗って下さるので、人生の先輩として尊敬と憧れの的になっています。



20年前にもくれん会が発足してから、次にむつみ会、ひつじ会と増えて、年に一度文化展で出会います。手の込んだ難しい作品に仕上げるベテランから、優しい模様を必死に仕上げる初心者迄「編物はボケ防止になる」と皆楽しんで、一針一針に神経を集中して仕上げる努力をしています。

工芸部会

ステンンドグラスクラブ

山下 信子

色と光の夢の世界ステンンドグラスに出会い、夢中になれる物がある人生ってすばらしいと思っています。

教室では作品にあわせてガラスを選び、ガラスを切り、コパーテープを巻いて、最後はハング付け。こうして仕上げてみますと満足のいく作品には程遠いですが明かりを灯すと今までの苦労も忘れてとても嬉しくなります。



教室は月に一回のクラスと二回のクラスがあり、仲間の刺激を受けたり作業する手が止まってしまう程会話がはずんだりする楽しい教室です。

依田清子先生の丁寧な御指導に感謝申し上げながら、これからも勉強していきたいです。

とうみ混声合唱団

創立30周年記念定期演奏会

去る10月4日、文化会館「サンテラスホール」にて、午後2時より、とうみ混声合唱団創立30周年記念定期演奏会が開かれました。第一部〜三部に分かれ、外国曲（マドリガル）古き良き時代より歌い継がれた、日本の抒情歌、楽しさいっぱいの「宮崎駿映画音楽」高田三郎混声合唱組曲「水のいのち」より雨など命の尊厳をテーマに多彩な曲が盛り込まれ、30年間の歴史を感じさせる壮麗な響きは、ほぼ満席のお客様に感動の渦を広げていました。



文化協会役員研修旅行

小江戸 川越を訪ねて

9月29日、恒例の役員研修旅行が行なわれました。今年度はNHK連続テレビ小説「つばさ」の舞台となった小江戸川越を訪ね、江戸情緒あふれる蔵造りの街並みを散策しました。



蔵の街 川越

城下町、商業都市として発展した川越のシンボル「一番街」。重厚な耐火建築の店舗が軒を連ね、国の重要伝統的建造物群保存地区と「美しい日本の歴史的風土100選」に選定されています。江戸の昔から変わらず時を知らせる「時の鐘」、洋風建築の埼玉りそな銀行川越支店、蔵造り資料館など川越の繁栄ぶりと川越商人の災害への知恵がしのばれました。昭和初期のノスタルジックな雰囲気が残る菓子屋横丁では、名物のさつまいものお菓子や懐かしい駄菓子など買い求め旅気分を満喫。もう一度訪ねてみたいと思いました。



時の鐘 撮影 写真部会長 土屋孝吉

編集後記

散りゆく紅葉の葉を眺めながら、月日の流れの速さを感じております。今まで編集を未体験の委員が大半の中で、4月に広報委員会をスタートさせ、今年には部会活動を中心にご紹介しようという方針を決めました。

6月からはホームページの運用も開始し、その取材も慣れない中で行ってきました。どちらも会員の皆様のご協力で何とか形になり、ここに「せせらぎ第28号」をお届けすることが出来ました。

イベント等の詳細はホームページでご覧下さい。

ホームページには、出来るだけ早い情報をと心がけています。これからも取材にお伺いさせて頂きます。その折にもどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員 青木嘉子・秋山てる子・小松美どり・服部外松・宮澤愛子